

## 平成26年度第2回小牧市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成27年2月18日(水)  
午後2時～午後3時
- 2 開催場所 小牧市役所 東庁舎1階 会議室1-1
- 3 出席者 会長 長尾 英俊 (公財)小牧市体育協会競技委員長  
委員 佐藤 史郎 (公財)小牧市体育協会副会長  
委員 舟橋 巧 小牧南小学校区スポーツ振興会会長  
委員 杉田 久美子 小牧市スポーツ推進委員連絡協議会副会長  
委員 宮崎 加代 小牧市体操連盟理事  
委員 松浦 昌美 市民公募委員  
委員 田中 雅之 市民公募委員
- 4 欠席者 委員 花井 忠征 中部大学教授  
委員 黒田 真二 名古屋造形大学講師  
委員 中川 宣芳 中小体連小牧支所代表
- 5 説明のため出席した事務局員  
(教育委員会事務局)  
教 育 長 安藤 和憲 教育部長 大野 成尚  
教育部次長 舟橋 泉 スポーツ推進課長 落合 健一  
スポーツ推進係長 長谷川 潤治  
スポーツ推進係主事 吉田 祐将  
  
(小牧市体育協会)  
事務局長 井上 武 事業係長 青山 寿彦
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議の内容  
(1) 議題  
議題第1号 平成27年度教育委員会基本方針(案)について(スポーツ推進課分)  
議題第2号 平成27年度社会体育事業実施計画(案)について  
議題第3号 平成27年度社会体育予算総括表(案)及び主要事業(案)について
- 8 会議の資料  
(1) 平成27年度教育委員会基本方針(案)  
(2) 平成27年度社会体育事業実施計画(案)  
(3) 平成27年度社会体育予算総括表(案)及び主要事業(案)

- (4) 資料1 こまき夢・チャレンジカップU-12（小牧市長杯）開催事業
- (5) 資料2 FIVBワールドカップバレーボール誘致事業

## 9 議事内容

[事務局]（落合スポーツ推進課長）

只今から、平成26年度の第2回小牧市スポーツ推進審議会を開催します。

小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づいて、会議を公開となっておりますが、本日の傍聴人はありません。

欠席の委員は、花井委員、黒田委員、中川委員であります。

本日の会議は、7名が出席しておりますので、規定により会議は成立しております。本日の資料の確認ですが、次第、平成27年度教育委員会基本方針（案）について（スポーツ推進課分）、平成27年度社会体育事業実施計画（案）、平成27年度社会体育予算総括表（案）及び主要事業（案）、資料1のこども夢・チャレンジカップU-12（小牧市長杯）開催事業、資料2のFIVBワールドカップバレーボール誘致事業であります。

それでは、教育長より挨拶を申し上げます。

[安藤教育長]

たいへんお忙しい中、本審議会にご出席いただきましてありがとうございます。スポーツの話題としては、今週月曜日のメンフィスオープンで、錦織選手が3連覇を達成しました。また、女子のスキージャンプの高梨選手が4連勝するなど、明るいニュースがありました。

小牧市では激励費を渡していますが、誉高校の乗馬の選手は、埼玉県から小牧市に転入しており、乗馬の全国大会にも参加しています。また、北里中の3年の生徒が、ゴルフの国際大会で2位になっており、高校生や中学生が若い力を発揮し、小牧市でも近い将来が楽しみであります。

少しお時間を頂きまして、本年度の事業の説明をさせていただきます。本年度の事業として、スポーツ推進事業の目玉事業の一つとして「こころのプロジェクト 夢の教室」を新たに立ち上げました。これは日本サッカー協会と協定を結び、現役やかつてのアスリートを小学校にお招きして、夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さを、実技と講義で5年生を対象に実施しました。トップアスリートを身近に感じることで、こども達からは、自分も夢を持ってがんばっていきたいという前向きな声が聞かれて、こども達にとって刺激になる事業であったと思います。来年度は、「夢の教室」の予算は、学校教育課に移行しますので、今回の提案はありません。また、こども夢・チャレンジカップU-12（小牧市長杯）を昨年5月に開催しました。内容は、在日海外クラブチームをお招きし、小牧で大会を開いたわけですが、遠くは東京や福岡から参加していただきました。今年は、11月15日に全国からトップレベルの選手を集めて開催します。

平成27年は、市制60周年にあたる年であり、記念事業として様々なスポーツ

事業を計画しています。1月25日には市制60周年記念事業として小牧シティマラソン大会を開催しました。今後、市制60周年を市をあげて祝い、市民の皆様と喜びを分かちあいたいと思います。

本年も2月24日より3月議会が始まり、来年度の予算案を審議します。

本日は、その予算案に係る実施計画や教育委員会の基本方針等をご審議していただきますので、忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思います。本日はよろしくをお願いします。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

続きまして、長尾会長よりあいさつをお願いします。

[長尾会長]

教育長から事業の内容についてご説明いただきました。お聞きした中で、これからわくわくするような、展望という言葉がそのまま当てはまるような内容があったかと思います。スポーツ推進とは、この審議会が一つの軸になって推進していくこととなりますので、忌憚のないところでご発言をお願いし、できましたら皆様から何かご意見をいただけたらと思っております。ご協力をお願いします。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

当会議の議事録署名人を杉田委員にお願いします。また、規定により会長が会務を総理することになっていますので、会長に議事進行をお願いします。

[長尾会長]

それでは、議題第1号「平成27年度教育委員会基本方針(案)について(スポーツ推進課分)」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

(事務局より議題第1号、資料に基づき概要を説明)

[長尾会長]

市民総スポーツの捉え方であるが、市民総スポーツの「総」とは、どのような数値の目標を考えているのでしょうか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

小牧市スポーツ振興計画が平成22年10月に策定されています。この中でも、「市民総スポーツを推進する」という項目があり、平成30年度までの目標として、「成人の週1回以上のスポーツの実施率を50%以上にすること」を目標にしていますので、これが一つの数値目標であります。

[長尾会長]

例えば、大山川沿いや田んぼの中をウォーキングする方を良く見かけることがあり、これも立派なスポーツだと思うのですが、そういう人も数値に反映しているのでしょうか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

数値の根拠としては、総合計画に関する指標を取るために、市民の何%かの人を抽出してアンケート調査を行っており、その結果を数値に反映しています。

[田中委員]

現在や過去にアンケートを行った時は、何%であったのか教えてください。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

直近の資料が手元にありませんのでわかりませんが、平成22年の小牧市スポーツ振興計画の策定時になりますが、46.1%であります。その当時の全国平均は、38.5%です。

[田中委員]

小牧市は、全国平均と比較してスポーツがされているということですね。

[長尾会長]

1%上げるだけでも大変なことなので、国と比べて約10%違うのはそれなりの成果であると思いますが、50%の目標数値に対して着実に進めていただきたいと思います。

それでは、他にご意見もないようですので、議題第1号「平成27年度教育委員会基本方針(案)について(スポーツ推進課分)」は、承認いただけますか。

(委員から異議なしの声)

[長尾会長]

議題第1号は承認いたします。

続いて議題第2号「平成27年度社会体育事業実施計画(案)」及び議案第3号「平成27年度社会体育予算総括表(案)及び主要事業(案)」について、一括して事務局から説明をお願いします。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

(議題第2号、議案第3号の資料に基づき概要を説明)

[長尾会長]

事業実施計画の内容で、今年度と比較して来年度の目玉事業、改善された事業があれば教えてください。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

基本的には今年度の事業を引き続き行っていますが、特に、ノルディックウォーク講座は、まだ始まったばかりの事業ですので継続して実施し、ノルディックウォークのスポーツ人口の拡大に努めたいと思います。

[佐藤委員]

2 ページでキャンプ場借上事業の廃止とあるが、どれくらいの実績であったでしょうか。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

詳細な資料は持ち合わせていませんが、過去については200件を超えるような利用が夏休みの期間にありましたが、ここ数年は、50組を割って30組程度であり、年々利用者も減ってきています。また、利用者も固定化されており、一部の方が恩恵を受け続けることも、行政として適切ではないと判断しまして、今回廃止させていただくものです。

[長尾会長]

他にありませんか。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

先ほどの事業説明で、総合運動場の多目的広場に、サッカー選手用のベンチを兼ねた庇を設置すると説明しましたが、それ以外に水泳連盟からの要望の水泳大会用のタイム計測器で、半自動計のものになりますが購入する予定であります。

施設整備では、パークアリーナ小牧のロータリーの脇に、2階へ上がる屋外階段がありますが、その階段の壁面がひび割れて、雨天時に漏水が発生しているので補修工事を実施していきます。

温水プールについては、設置以来25年が経過しています。老朽化に伴い不具合が出始めているので、計画的に整備しようとするもので、来年度については屋内の壁面の塗装を中心に改修工事を実施します。

[佐藤委員]

温水プールの壁面工事の説明がありましたが、工事中は温水プールを利用できませんか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

今回の工事の内容が、プール場内壁面の塗装やスライダースタート部の改修など、

利用者が直接利用する場所ですので、利用者の安全面を配慮し、温水プールを閉館して工事を実施する予定です。

[舟橋委員]

2 ページの「レクスポ小牧2015」は、今年度までは「女性スポーツ大会」を実施していたが、その代わりに実施する大会ですよ。

[事務局] (井上体育協会事務局長)

体育協会主催事業の女性スポーツ大会は、例年、参加者数が減少しており、今後どうしたら良いのか検討をしてきました。女性スポーツ大会は、10数種目を実施していましたが、女性に参加の機会を提供するという当初の主旨が達成できたということもあり、また、市民体育大会の一部に女性の部を設けており、女性スポーツ大会と重複した大会もありましたので、市民体育大会に統合しようという結論になりました。ただし、大会をなくすだけではどうかという意見がありましたので、平成26年度から地域スポーツの活性化に力を入れていることから、4月の第2日曜日に、地域スポーツの目玉でもあるレクスポ種目を集めた大会を開催してはどうかということになり、平成27年度から「レクスポ小牧2015」を開催することになりました。

[舟橋委員]

「レクスポ小牧2015」の種目は何ですか。

[事務局] (井上体育協会事務局長)

グラウンドゴルフ含めて9種目ですが、インディアカ、ソフトバレー、ショートテニス、ペタンク、ネオホッケー、タスポニー、ミニテニス、パークゴルフです。

[舟橋委員]

この9種目の中で、去年の女性スポーツ大会のタスポニー参加者が4人程度と少数であったが、男女の大会に変わると増えますか。

[事務局] (青山体育協会事業係長)

タスポニーの市民体育大会では、10名程度でありました。

[長尾会長]

「レクスポ小牧2015」では、できるだけ盛大に開催できれば良いと思います。

4 ページの小中学校運動部活動指導者派遣事業は、派遣者数が徐々に増加していると思いますが、派遣実績はどういう状況ですか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

平成25年度が89人、平成24年度は26人を派遣しています。平成25年度で増加していますのは、平成25年度に中学校のジュニアクラブが廃止になり、この事業に移行したためであります。

[長尾会長]

今後、派遣人数が増加していくことを期待しています。

[佐藤委員]

3ページの公認スポーツ指導員養成講座は、市内だけで実施するものですか。

[事務局]（長谷川スポーツ推進係長）

その通りです。

[佐藤委員]

県とか全国の各競技団体でも指導者の育成をしているので、公認スポーツ指導員養成講座を開催する際に、県や全国で開催しているスポーツ指導者の養成講座の情報を、受講者に提供していただきたいと思います。

[長尾会長]

これは市に対する要望としてお聞きしました。

公認スポーツ指導員養成講座の受講生を、どのように活用する考えですか。

[事務局]（長谷川スポーツ推進係長）

学校運動部活動に派遣している民間指導者を中心に受講しているので、民間指導者のレベルアップを図り活用していきたいと考えます。

[長尾会長]

具体的には、4ページの小中学校運動部活動指導者派遣事業の基礎固めの部分が中心になるということですか。

[事務局]（長谷川スポーツ推進係長）

その通りです。

[長尾会長]

予算関係について、何かご質問はありますか。

[舟橋委員]

予算関係の2ページで、生涯スポーツ推進事業の予算額10,638千円のうち、「こども夢・チャレンジカップU-12（小牧市長杯）の開催」の予算額はいくらです

か。

この事業は特定の人だけが参加するように感じるが、例えば、公園にはバスケットゴールが設置されているので、同じようにサッカーゴールを設置すると、こどもの夢を応援することになると思うがどうでしょうか。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

平成27年度の予算額は10,638千円のうち1,000千円、平成26年度は1,300千円であります。参加チーム数は6チームから8チームになり、チーム数は増えるが予算は減ることになります。その理由としては、平成26年度は遠方の参加チームから参加費を取らずに、その必要な宿泊費などは大会実行委員会で負担していましたが、平成27年度は、参加チームから負担金を徴収することとしましたので、市の負担金は大会を開催するために必要な経費、事務費や会場で必要な物の購入費などに当てさせていただきます。

特定の競技に特化してという話ではありますが、市としては、現在、「こども夢・チャレンジNO.1都市」宣言をしようということもあり、こども達がスポーツを通じて夢を持つことの大切さ、夢に向かって努力することの大切さを分かっていたきたいことがあります。また、大会を観戦する家族、友達又は興味があつて見学する方などがあり、スポーツを通じて交流ができたり、こどもが夢を追う姿をみなで応援することで、市を挙げて、サッカーを通じて、こども達が将来に向かって羽ばたいていくことを応援するという流れができれば良いかと思えます。

大会の周知については、サッカー関係者のみならず、広くPRしていきたいと考えています。

[長尾会長]

サッカーに限った形ではないということをついていかないと誤解を招くので、これを皮切りに、こどもの夢を広げようという捉え方をしていくことだと思えます。

予算について、皆さんのお考えはありませんか。予算額としては、日常生活とかけ離れているので、スポーツはお金が掛かるというイメージを持たれるかも知れませんが、それだけスポーツを重視しているという理解も必要かと思えます。

ご意見等もないようですので、それでは、議題第2号「平成27年度社会体育事業実施計画(案)」及び議案第3号「平成27年度社会体育予算総括表(案)及び主要事業(案)」については、承認いただけますか。

(委員から異議なし)

[長尾会長]

異議なしとのことですので、議題第2号及び3号議案は承認いたします。

それでは、本日の議事がすべて終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

次第3「その他」ですが、次回開催は8月頃の予定とします。

以上をもちまして、平成26年度第2回小牧市スポーツ推進審議会を終了いたします。